



**第52回(2023年度)  
地域安全学会研究発表会(春季)  
横浜大会プログラム**

**2023. 5.27 - 28**

神奈川大学

みなとみらいキャンパス



**地域安全学会**  
Institute of Social Safety Science

■会場 神奈川大学みなとみらいキャンパス(横浜市西区みなとみらい4-5-3)



アクセス	みなとみらい線	「みなとみらい」駅	徒歩	6分
	//	「新高島」駅	徒歩	4分
	JR・東急・京急・相鉄・市営地下鉄	「横浜」駅	徒歩	11分
	JR・市営地下鉄	「桜木町」駅	徒歩	12分

会場配置	受付	1階	メインエントランス
	関東大震災100周年記念一般公開シンポジウム	1階	米田吉盛記念ホール
	総会・表彰式	4階	A会場：4006講義室
	関東大震災特別セッション	4階	A会場：4006講義室
	一般論文セッション	4階	A会場：4006講義室 B会場：4007講義室 C会場：4008講義室 D会場：4009講義室 E会場：4018講義室 F会場：4020講義室

表紙写真 みなとみらい地区(写真提供:(有)シュープ rint)

## 日 程

2023年 5月27日(土)

9:15 受付開始 1階 メインエントランス

**9:45 関東大震災100周年記念一般公開シンポジウム** 1階 米田吉盛記念ホール  
「人々の関東大震災」

司会 松岡昌志(東京工業大学)

学会長挨拶 地域安全学会会長 村尾 修

来賓挨拶 神奈川大学建築学部長 島崎和司

基調講演「人々の関東大震災」 東京大学教授 鈴木 淳

パネルディスカッション

パネリスト 東京大学教授 鈴木 淳

横浜市都市発展記念館 吉田律人

都市史研究家 田中 傑

東京大学教授 目黒公郎

コーディネータ 京都大学教授 牧 紀男

閉会挨拶 常葉大学教授 田中 聡

**12:00 2023年度地域安全学会総会** 4階 A会場(4006講義室)

2022年度各賞表彰式 表彰委員長 池田浩敬(常葉大学)

- 秋季研究発表会一般論文優秀発表賞
- 論文奨励賞
- 年間優秀論文賞

2022年度地域安全学会技術賞受賞記念講演 永松伸吾(関西大学)

議事 会長 村尾 修(東北大学)

**13:00 関東大震災特別セッション** 4階 A会場(4006講義室)

司会 能島暢呂(岐阜大学)

- 三浦弘之 「1923年関東地震における東京での記象の再数値化とその分析」
- 重川希志依 「関東大震災から100年、次の震災に備え何をするべきか？」
- 越山健治 「関東大震災の都市復興計画を再考する」
- 村尾 修 「1923年関東大震災から100年:都市防災からみた首都圏拡大の再考」
- 稲垣景子 「神奈川県における関東大震災の被害－100年の歴史から未来を考える－」
- 目黒公郎 「関東大震災が我が国に与えた影響とは」

## 14:30 一般論文セッション

4階 A～F会場(各講義室)

14:30 第Ⅰ部

Aセッション:4006講義室

Dセッション:4009講義室

16:05 第Ⅱ部

Bセッション:4007講義室

Eセッション:4018講義室

Cセッション:4008講義室

Fセッション:4020講義室

## 19:00 懇親会

北京烤鴨店(北京カオヤテン)中華街店(横浜市中区山下町191-10)

2023年 5月28日(日)

## 9:15 視察バスツアー

神奈川県立歴史博物館正面玄関 集合

「横浜と東京でめぐる関東大震災」

9:15 集合：神奈川県立歴史博物館（横浜市中区南仲通5-60-60）正面玄関

関内地区周辺の関東大震災由来の地

バス移動：横浜→東京（車内で昼食）

東京都復興記念館・慰霊堂，復興小学校など

15:45 解散：東京駅（予定）

## 関東大震災100周年記念地域安全学会一般公開シンポジウム

### 「人々の関東大震災」

今年の9月1日で多くの人命が失われ、現在の日本の防災対策を考える際の一つの大きな立脚点となっている関東大震災から100年を迎えます。

地域安全学会は、「生活者の立場から地域社会の安全問題を考え、地域社会の安全性の向上に寄与する」、「自然科学ばかりでなく、人文社会科学を含めた多方面の協力で地域の安全問題を考える」という視点から防災対策のあり方について考えてきています。

関東大震災から100年という今年は多くの関東大震災について再検討するシンポジウムが開催されます。地域安全学会では先述の学会設立の趣旨をふまえ、地震の発生メカニズム、被害、その後の都市再建、防災対策の拡充といった物理的な視点からではなく、災害救援、人々が関東大震災にどのように対応してきたのかといった地域安全にかかわる多様な視点から関東大震災について再度考えるシンポジウムを企画しました。

パネルディスカッションでは、映像、手記、手紙、パンフレット等々、震災を生き抜いた人々の姿に焦点を当て、生活者の視点から関東大震災の姿を明らかにするとともに、関東大震災下の人々の動きも踏まえ、想定される首都直下地震後の社会の姿・課題について考えます。

■日時：2023年5月27日(土) 9:45～12:00

■会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス（横浜市西区みなとみらい4-5-3）

1階 米田吉盛記念ホール

■参加：参加費無料・事前申込不要

■主催：一般社団法人地域安全学会

■共催：神奈川大学

■内容

#### 【挨拶】

村尾 修（地域安全学会会長・東北大学教授）

島崎和司（神奈川大学建築学部長・教授）

#### 【基調講演・パネリスト】

鈴木 淳（東京大学）「人々の関東大震災」

#### 【パネリスト】

吉田律人（横浜都市発展記念館）

田中 傑（都市史家）

目黒公郎（地域安全学会理事・東京大学）

#### 【コーディネータ】

牧 紀男（地域安全学会理事・京都大学教授）

#### 【閉会挨拶】

田中 聡（地域安全学会副会長・常葉大学教授）

# 研究発表会プログラム

## 関東大震災特別セッション

13:00-14:20 A会場(4006講義室)

司会: 能島暢呂(岐阜大学)

時刻	題目	発表者
13:00	1923年関東地震における東京での記象の再数値化とその分析	三浦 弘之
13:12	関東大震災から100年、次の震災に備え何をすべきか?	重川 希志依
13:24	関東大震災の都市復興計画を再考する	越山 健治
13:36	1923年関東大震災から100年:都市防災からみた首都圏拡大の再考	村尾 修
13:48	神奈川県における関東大震災の被害—100年の歴史から未来を考える—	稲垣 景子
14:00	関東大震災が我が国に与えた影響とは	目黒 公郎

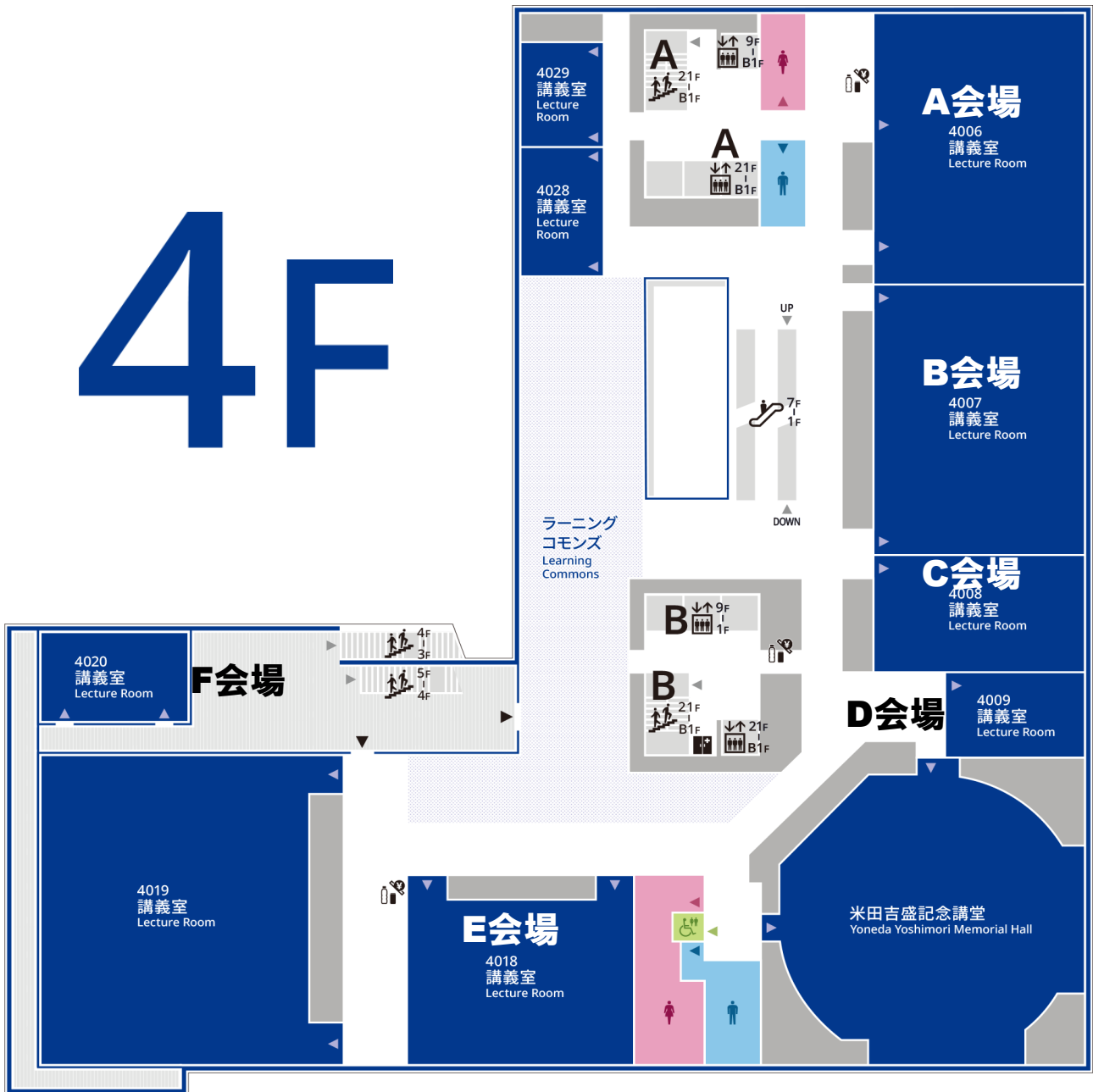
## 一般論文セッション

14:30-17:45 A~F会場(4階 各講義室)

セッション	A	B	C	D	E	F
会場	4006講義室	4007講義室	4008講義室	4009講義室	4018講義室	4020講義室
司会	永田 茂	高原 耕平	寅屋敷 哲也	折橋 祐希	藤本 一雄	柄谷 友香
14:30	A01	B01	C01	D01	E01	F01
14:42	A02	B02	C02	D02	E02	F02
14:54	A03	B03	C03	D03	E03	F03
15:06	A04	B04	C04	D04	E04	F04
15:18	A05	B05	C05	D05	E05	F05
15:30	A06	B06	C06	D06	E06	F06
15:42	A07	B07	C07	D07	E07	F07
休憩(11分)						
司会	上岡 洋平	田代 喬	坪井 塑太郎	鍵屋 一	辻岡 綾	佐藤 慶一
16:05	A08	B08	C08	D08	E08	F08
16:17	A09	B09	C09	D09	E09	F09
16:29	A10	B10	C10	D10	E10	F10
16:41	A11	B11	C11	D11	E11	F11
16:53	A12	B12	C12	D12	E12	F12
17:05	A13	B13	C13	D13	E13	F13
17:17	A14	B14	C14	D14	E14	F14
17:29						F15

梗概集URL [http://iss.jp.net/?page\\_id=81](http://iss.jp.net/?page_id=81)

■研究発表会会場 神奈川県みなとみらいキャンパス 4階各講義室



総会・表彰式, 関東大震災特別セッション, Aセッション: 4006 講義室

Bセッション: 4007 講義室

Cセッション: 4008 講義室

Dセッション: 4009 講義室

Eセッション: 4018 講義室

Fセッション: 4020 講義室

# Aセッション発表論文

A会場(4006講義室)

第Ⅰ部 司会：永田 茂(防災科学技術研究所)			
No.	時刻	論文題目	発表者
A01	14:30	建物被害認定調査における被災地外からの支援の試み： 2022年福島県沖地震における南相馬市の事例	辻 翔平
A02	14:42	土石流発生危険度の評価のための数値標高モデルによる地形量分析	谷崎 巧朗
A03	14:54	常時微動観測による狭隘な海岸平野部の地盤評価	中村 友紀恵
A04	15:06	活断層の減衰特性を推定するための地震観測	山田 雅行
A05	15:18	多時期航空レーザ計測データから見た熊本地震による南阿蘇村の建物解体撤去 と再建状況	山崎 文雄
A06	15:30	深層学習を用いた建物被害認定調査への適用	上岡 洋平
A07	15:42	建物被害認定調査のためのVR研修システムの試作	高山 裕希
15:54		(休憩)	

第Ⅱ部 司会：上岡 洋平(日本クニヤ)			
No.	時刻	論文題目	発表者
A08	16:05	流量の違いを考慮した土石流シミュレーションによる土砂高さと建物被害分布 の変化の分析	橋本 裕輝
A09	16:17	近年の気象災害時のライフラインの被害と影響に関する調査分析	永田 茂
A10	16:29	Improved Gabion Technology for Soil Stability and Flood Control at Nepal	Suresh LAUDARI
A11	16:41	岩手県宮古市で実施された学生サークルによるドローンを活用した東日本大震災 行方不明者捜索活動について	遠藤 隆史
A12	16:53	2019年台風15号による千葉県の水道施設のレジリエンス・アナリシス	岡野 莉子
A13	17:05	2022年台風15号による静岡県内の水道施設でのレジリエンス・アナリシス	相良 翔
A14	17:17	神戸市における都市開発と土砂災害リスクの関連性に関する研究	北脇 敬吾

※時間厳守【時間配分の目安：発表7分，質疑応答5分】



## Bセッション発表論文

B会場(4007講義室)

第Ⅰ部 司会: 高原 耕平(人と防災未来センター)			
No.	時刻	論文題目	発表者
B01	14:30	熱海伊豆山土石流災害における住民の行動とその要因についての分析	柴田 結衣
B02	14:42	伊勢湾台風に伴う広域・長期浸水地域におけるライフラインの復旧過程に関するレビュー:1. 決壊堤防の仮締切に関する時空間変異	田代 喬
B03	14:54	東日本大震災時の津波避難等に関する調査 -青森県三沢市三川目・六川目地区での事例-	池田 浩敬
B04	15:06	台風における避難行動を喚起するテレビ報道の実態の分析	川坂 勇太
B05	15:18	過去20年間に対応した危機事象の種類に関する都道府県別比較	庄司 秀明
B06	15:30	臨時情報発表時の社会事象とその要因の推定に関する一考察 ~なぜなぜ分析を応用した災害事象の要因分析手法の検討~	千葉 啓広
B07	15:42	富士山北麓地域の住民とのリスクコミュニケーションに基づく避難支援ツールの開発	佐藤 史弥
15:54		(休憩)	

第Ⅱ部 司会: 田代 喬(名古屋大学)			
No.	時刻	論文題目	発表者
B08	16:05	関東大震災以降の東京都市圏の露出度変化に関する研究	藤原 叶多
B09	16:17	Assessment of Open Space Performance in Tokyo from the Perspective of Urban Disaster Resilience	Yitong DONG
B10	16:29	将来災害想定における災害障害者の発生数推計	高原 耕平
B11	16:41	海南省事前復興計画策定における継続的な自治体職員研修の効果と課題	金 玖淑
B12	16:53	徳島県内の社会福祉施設棟へのBCP策定支援からみた災害対策の現状と課題	湯浅 恭史
B13	17:05	自治体向け時空間地理情報システムにおける滅失家屋の時間消滅処理ツールの試作	金子 幸喜
B14	17:17	新型コロナウイルス感染症対応における都道府県型保健所および市町村保健センターのアンケート調査による役割分担の実態分析	大西 真衣

※時間厳守【時間配分の目安:発表7分, 質疑応答5分】

## Cセッション発表論文

C会場(4008講義室)

第Ⅰ部 司会: 寅屋敷 哲也(早稲田大学)			
No.	時刻	論文題目	発表者
C01	14:30	横浜市青葉区の高齢者福祉施設における停電実態調査	糸川 龍朗
C02	14:42	水族館での災害発生時における飼育生物の扱いに関する研究	小林 健太
C03	14:54	東日本大震災から10年における主観的被災者意識の規定要因	本莊 雄一
C04	15:06	災害時支援型調査における地理空間情報の利活用に関する研究 ー被災者支援活動と連携したデータ収集・分析の可能性と課題ー	坪井 塑太郎
C05	15:18	大震災後における避難施設の住環境に関する研究 ーその2 アフターコロナにおける避難所の住要求に関する調査ー	藤田 啓斗
C06	15:30	東京都の木造密集市街地における空き家の発生と解消 ー墨田区におけるケーススタディーー	米村 文武
C07	15:42	防災リテラシーの先有傾向と防災体験活動への自主的関与の関連 :2時点パネル調査データに基づく基礎的分析	藤本 慎也
15:54		(休憩)	

第Ⅱ部 司会: 坪井 塑太郎(社会安全技術研究所)			
No.	時刻	論文題目	発表者
C08	16:05	家族モデルと防災リテラシーの関連性 ー中国大都市部における質問紙調査からー	劉 宇婷
C09	16:17	未災地における行政の継続的な地域防災活動支援の実施プロセス ～和歌山県海南市の地域防災活動支援事業の事例を通して～	上田 知史
C10	16:29	地方自治体の災害対応における連携のための越境を促進するワークショップ の開発ー「部署間越境・連携ワークショップ」の実践および評価ー	寅屋敷 哲也
C11	16:41	自治体の災害対応力向上に向けた生成系AIチャットボットの活用可能性についての予備的検討	紅谷 昇平
C12	16:53	豊川市防災センター巨大床面地図の豊川市職員防災研修への展開の取り組み	平松 佳采
C13	17:05	大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究 ー市職員の業務分析を事例としてー	有吉 恭子
C14	17:17	二重過程理論にもとづく津波避難行動に関する証言の分析	新家 杏奈

※時間厳守【時間配分の目安:発表7分, 質疑応答5分】

## Dセッション発表論文

D会場(4009講義室)

第Ⅰ部 司会：折橋 祐希(防災科学技術研究所)			
No.	時刻	論文題目	発表者
D01	14:30	来訪者視点での震災伝承施設の特徴の布置： 東日本大震災の65施設を対象とした試み	渡邊 勇
D02	14:42	地域の共助につながる人的リソースについての新たな視点からの分析	山口 まどか
D03	14:54	自然災害からの地域復興を支える住民組織に関する研究 西日本豪雨災害で 被害を受けた広島県坂町における住民協関係者へのヒアリング	大迫 雅俊
D04	15:06	放課後等デイサービス事業所における災害への備えに関する研究	前川 良栄
D05	15:18	大都市における障害福祉施設BCPの課題抽出と考察	鍵屋 一
D06	15:30	三重県職員を対象とした防災人材育成指針策定の取組	岸江 竜彦
D07	15:42	災害対応を実施する集団の組織化	折橋 祐希
15:54		(休憩)	

第Ⅱ部 司会：鍵屋 一(跡見学園女子大学)			
No.	時刻	論文題目	発表者
D08	16:05	南海トラフ地震と臨時情報について理解を深めるための災害行動想定ワークの 開発と実施	岡田 恵実
D09	16:17	火山に対する災害意識に関する研究 ーその1 首都圏および鹿児島県在住の大学生を対象とした調査ー	内田 和香
D10	16:29	1923年関東大震災に関する研究の変遷(1968-2023年)	加藤 春奈
D11	16:41	非常参集後に基礎自治体職員が活用するアクションカードの作成手順の開発	藤原 宏之
D12	16:53	事前復興対策としての二地域居住政策の可能性について ー兵庫県西脇市芳田地区における住民アンケートからー	佐藤 敬生
D13	17:05	留学生と地域の「防災まちあるき」の試み	飯塚 明子
D14	17:17	津波避難困難地域における支援対策の足掛かりを見つけるための地域の取組に 関する研究ー徳島県美波町由岐湾内地区の後期高齢者を対象としてー	氏家 里菜

※時間厳守【時間配分の目安：発表7分、質疑応答5分】

# Eセッション発表論文

E会場(4018講義室)

第Ⅰ部 司会：藤本 一雄(千葉科学大学)			
No.	時刻	論文題目	発表者
E01	14:30	防災情報の送り手が抱える葛藤を可視化させる災害報道	川西 勝
E02	14:42	被災後の地域活動とソーシャル・キャピタル —大分県日田市における参与観察を通じて—	山口 泰輝
E03	14:54	高齢者福祉施設における最悪のシナリオを想定した場合の災害時職員体制・ 防災体制に関する基礎的調査	劉 虹
E04	15:06	災害時個別避難計画作成のための優先度推定手法と対象者決定過程への提案	森保 純子
E05	15:18	個別避難計画作成にかかる取り組み方法について —滋賀県2市における比較—	辻岡 綾
E06	15:30	岩手県宮古市田老地区における夜間避難訓練の取り組み その2 —地域の防災インフラを活用した訓練内容の構築—	杉安 和也
E07	15:42	防犯リテラシーの構築に向けた一考察	松川 杏寧
15:54		(休憩)	

第Ⅱ部 司会：辻岡 綾(防災科学技術研究所)			
No.	時刻	論文題目	発表者
E08	16:05	テンポラリーな空間に自治体が設置する新型コロナワクチン集団接種会場の事例 検証—A市の事例をもとに—	柴野 将行
E09	16:17	学生サークル「ドローンサークル」による地域と連携した防災におけるドローンの 利活用に関する検討	菊地 由華
E10	16:29	学生や生徒の防災意識が高まる学校の防災教育のあり方	本橋 大希
E11	16:41	学校安全表彰受賞校を対象とした学校における安全文化に関するアンケート調査	藤本 一雄
E12	16:53	熊本地震災害が高校進学に与えた影響についての予備的研究	川見 文紀
E13	17:05	防災教育における災害伝承の位置付けの実態(1): 「ぼうさい甲子園」受賞校の学習内容の分析	佐藤 翔輔
E14	17:17	若者主体で行う防災アイデアソンの実践とその効果 —南海トラフ地震想定エリアの大学生連携—	山崎 稜大

※時間厳守【時間配分の目安:発表7分, 質疑応答5分】

## Fセッション発表論文

F会場(4020講義室)

第Ⅰ部 司会: 柄谷 友香(名城大学)			
No.	時刻	論文題目	発表者
F01	14:30	ソフト防災を機能化させるために必要な防災情報とその効果的な提供方法に関する研究—情報品質の向上の視点から—	有馬 昌宏
F02	14:42	災害レジリエンス評価指標の実証的検証に関する文献調査	塩崎 由人
F03	14:54	我が国防災法における防災法における国、地方公共団体の関係性に関する課題—災害対策基本法条文及び制定時の国会審議から探る—	吉村 裕司
F04	15:06	災害対応史と日本災害デジタルアーカイブの活用	佐藤 慶一
F05	15:18	商店街振興イベントとしての防災スタンプラリーの開発	永松 伸吾
F06	15:30	災害を考慮したインドネシアと日本における基本事項の比較考察	佐藤 美月
F07	15:42	国際緊急人道支援における国による支援要請をめぐる課題—トルコ・シリア地震に着目して—	阪本 真由美
15:54		(休憩)	

第Ⅱ部 司会: 佐藤 慶一(専修大学)			
No.	時刻	論文題目	発表者
F08	16:05	Exploring Social Media Activities During Extreme Rainstorm Disasters: A Case Study of Henan Floods in July 2021, China	Jingyi GAO
F09	16:17	世界遺産における災害リスクと災害危機管理計画に関する研究その1 世界遺産対象文献調査による災害リスクの特徴と災害事例の把握と課題の抽出	李 敏
F10	16:29	原発避難生活での自閉スペクトラム症(ASD)児とその母親の困難と支援に関する考察	柄谷 友香
F11	16:41	震災関連の判例分析に基づく訴訟回避のための災害対応に求められる要素に関する考察	植田 大貴
F12	16:53	尼崎市における中小企業の防災意識と災害対策について その1 中小企業を対象としたアンケート結果の整理	眞鍋 大志
F13	17:05	尼崎市における中小企業の防災意識と災害対策について その2 福祉系企業の特徴についての分析	橘 泰嗣
F14	17:17	地域防災力向上のためのファッションに関する研究	西田 裕美
F15	17:29	セクシャルマイノリティの人々の災害時の困難を理解するための日本における探究的研究	北村 美和子

※時間厳守【時間配分の目安:発表7分, 質疑応答5分】

■懇親会会場 北京烤鴨店(北京カオヤテン)中華街店(横浜市中区山下町 191-10) TEL: 050-5828-1155



アクセス みなとみらい線「元町・中華街」駅 徒歩6分

■視察ツアー集合場所 神奈川県立歴史博物館(横浜市中区南仲通 5-60)正面玄関



アクセス みなとみらい線 「馬車道」駅3番・5番口 徒歩1分  
 市営地下鉄 「関内」駅9番口 徒歩5分  
 JR 「桜木町」駅 徒歩5分

地域安全学会 関東大震災100周年記念特別委員会

村尾修 田中聡 小山真紀 稲垣景子 梅本通孝 落合努 庄司学 能島暢呂 牧紀男 松岡昌志 目黒公郎

地域安全学会春季研究発表会拡大実行委員会

石川永子 市古太郎 稲垣景子 梅本通孝 落合努 越村俊一

---

第52回(2023年度)地域安全学会研究発表会(春季)横浜大会  
プログラム

企画・編集 地域安全学会春季研究発表会実行委員会

写真提供 有限会社シュープリント

制作・著作 一般社団法人 地域安全学会

---

Copyright©地域安全学会

背表紙写真 関東地震被災直後の神奈川県庁 (<https://ja.wikipedia.org/wiki/関東大震災>)

